



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」ー酪農家の心を食卓へー



特集

年頭あいさつ
各部門長今年の抱負

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ



新年のご挨拶

代表理事組合長

小前 孝夫



新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員の皆様をはじめ、職員、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より組合運営に格段のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないまま3年が経過する事となり、依然として多方面に甚大な影響を与え続けています。これに加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻によって、アメリカを加えた西側諸国（EU諸国）とロシアの対立が激化

し、経済報復の応酬により燃料や食料など様々な物資・サービスの価格高騰に繋がり、世界的なインフレを招いています。更にアメリカが行ったインフレ抑制対策の利上げによって円安が急進するなど、コロナと世界情勢の変化に翻弄される社会・経済情勢下におかれています。

このような情勢の中にあつて、酪農経営を巡る状況は飼料価格の高騰や副産物の下落が進行し、自身の努力だけでは経営が成り立たない状況に陥っています。国や県、市町からの経営支援によって経営継続できている状況にあります。特に県や市町からは他県に例のないほどの支援をいただいています。生乳生産を継続するためだけではなく、弊組合が乳業プラントを有し、身体に必要な栄養源である牛乳・乳製品を届ける役割を担っていることから、鳥取の生産基盤が弱体化しないようにとの配慮も大きく、感謝に堪えないところであります。また、酪農乳業の役割への理解と期待に対して誇りを感じているところであり、思

いを共有し皆様の心の支えになればと願っています。

組合の状況であります。生乳生産量は60,331トンと予測を僅かに下回りましたが、製造・販売に影響を及ぼすことのない安定した生産となりました。乳業事業においても、製品販売高は、前年を上回り目標も達成することができました。物価高騰による買い控えが起きている中での実績は、生産維持と他県の生産者から目標とされる良質生乳生産への意識の高さと「安全安心で美味しい製品を安定的に消費者に届けたい」との、ブランド力を高める取り組みの成果であり、組合員、職員、皆様の日々のご尽力に感謝申し上げます。

さて、今置かれている最大の課題は、酪農経営の窮状の緩和と安定対策を構築することにあります。現行の配合飼料価格安定基金制度だけでは、急激な生産コスト上昇に対応できないのが現状です。将来にわたり安心して経営が継続できるように、酪農経営所得補償制度（セーフティーネット）、生産コストに連動できる生乳取引価格システムなどの制度が必要で、生産者、乳業者、国が一体となって創設することが重要であります。組合としても創立時の基本理念である組合員の

利益擁護（組合員の営農と生活を守る）を念頭に置き出来る事をしっかりと実践していくこととし、組合員の皆様におかれましても「ピンチをチャンスに変える」といった言葉もあるように、きっかけを与えていただいたと捉え、経営改善への積極的な取り組みによって、この難局を乗り越えて行きますよう。

今年は、組合にとって第8次中期経営計画の最終年度を迎え計画に沿って業務遂行していくことになり、第9次中期経営計画の策定に取り掛かる年でもあります。生産者に寄り添う指導体制、市乳部門の製造販売体制、デザート工場の建設についてなど、組合の将来に大きな影響を及ぼす事柄が多くあります。組合創立80周年（3年後）に向けて、販売戦略やブランド戦略など統括する経営戦略プロジェクトも業務開始させて、しっかりと分析のもとで慎重に計画を立て、将来への希望が描ける年となりますよう努めて参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

結びに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。

新年のご挨拶

鳥取県農林水産部畜産振興局 局長

岡垣 敏生



新年あけましておめでとうございます。

昨年は過去に例を見ないほど畜産経営にとって厳しい年でありました。年末には、鳥取県の養鶏場で初めて高病原性鳥インフルエンザウイルス感染が確認されました。また、令和2年から続くコロナ禍の影響による様々な畜産物の需給緩和、ロシアのウクライナ侵攻及び急激な円安の進行による原油価格、資材価格、配合飼料価格や輸入牧草価格の高騰のため、畜産経営その中でも酪農経営は苦しい状況のまま抜け出せないという状況に陥ってしまいました。

そのため、昨年4月22日に小前組合長と酪農家代表として八頭町の中村兼三氏が平井知事に窮状を訴えたことを受けて、県内酪農家のための経営補償の事業が、県議会議員の皆様の御協力の下、5月議会で成立しました。9月議会でも追加対策を打ち出し、県内の各市や各町と大山乳業農協にも協調していただき酪農経営支援を行っているところです。さらに、日本の酪農業を守るため、乳業メーカーも9年ぶりの乳価の期中改定を行い、昨年11月～12月にかけて飲用・発酵向け乳価や学校給食用牛乳を1キログラムあたり約10円引き上げるなどの努力もされているところです。

しかし、原油・資材価格の高騰、飼料価格の高止まりや値上げによる乳製品の買い控えにより、酪農経営は未だに苦しんでいる状況です。こうした状況を改善するため、消費者の皆様にも適正価格で買っていただく必要があると酪農家の皆様を引き続き訴えられているとも伺っています。

ただ、こうした厳しい状況の中で

も、鳥取県内の生乳生産量は県の目標でもある6万トン以上を3年続けて達成しました。さらに、東部の生産者が自給飼料生産拡大のための新たな組織を立ち上げたり、白バラ乳製品の消費拡大に向けて7年ぶりにチーズ製造を再開したり、新たな脱脂粉乳施設建設を計画したり、と飛躍のための対策も進めているとも伺っています。

酪農業界にとっては苦しい状況が続いている中ではありますが、今年の干支である「卯年」は成長の年と言われています。この厳しい状況を乗り越え、酪農家の皆様や大山乳業農協が更なる高みに「跳躍」するため、県として最大限支援して参りたいと思います。また、酪農だよりをお読みいただいている皆様が、この一年笑ってすごしていただく環境を作るためにウサギのように「耳」を大きくして皆様の声を拾いあげていきたいと思います。

本年が組合員の皆様、職員の皆様にとって、穏やかで健康に過ごすことができる年となることをご祈念申し上げます。上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



専務理事

平野 浩

あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

相変わらず新型コロナウイルスの感染拡大が続いていますが、行動制限は徐々に解除されコロナ前の日常を取り戻しつつあるのではないでしょう。か。昨年は世界情勢が大きく変化し、国内においても政治、経済、社会が混乱を極めた年でした。酪農においては飼料価格が高騰し、今までに経験したことのないような状況に陥り酪農経営は大きく影響を受けました。一方で、行政からの支援や11月からは乳価改定が実施されたものの十分とはいえず、生産者にとっては苦難の一年でなかったかと思われます。乳業においても原材料価格、エネルギーコストが

上昇を続け、経営的に先の見通しが立たない一年でありました。ようやく製品価格の改定による収益改善が図れたものの、あらゆるものの価格が上昇したなかで今後消費者心理がどのようになり購買に影響するかが心配であります。

今後しばらくは昨年と同様な社会情勢が続くことが予想され大きく不安が募ります。取り組むべき最優先課題は製品価格の値上げやコロナ禍で冷え込んだ消費回復への対策です。3月には伯耆酪農商事の統合による拠点整備を行い、関西地区の販売拡大に取り組めます。昨年より強化したEC事業（ネット通販）も効果が出てきており、今後は直販事業を含め新たな柱となるような施策を打ち立てます。3年目を迎えるデジタル化はさらに取り組みを進め業務改善に繋げていきます。そして、長年の課題であるデザート部門の工場整備も待ったなしの状況であり、検討チームを立ち上げて本格的検討に入ります。

本年も先が見通せない一年になりそうですが、山積する課題に積極的に取り組んでまいります。大山乳業農協、組合員、職員の皆さんにとっても明るい年になることを祈念しご挨拶とさせていただきます。



常務理事

亀田 進一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より組合運営に對しまして格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は振り返りますと、新型コロナウイルスの影響を受ける中、未だ収束が見通せないロシアによるウクライナ侵攻、円安の影響、さらには、自然災害頻発や物流不安などにより飼料、肥料、燃料など酪農生産に欠かすことのできない資材価格は過去最高水準まで高騰し、生産現場はかつてない状況に直面しています。緊急要請による県、市町、国等の政策的な支援と生産者の努力で厳しい経営が継続されています。また、脱脂粉乳の在庫が積み上がるなど生乳需給ギャップ拡大が値上げの障害となる中で11月から乳価値上げが合意され

ました。

一方、嬉しい知らせがありました。昨年に続き、中国地区良質生乳出荷者表彰で鳥取県の生産者が17名受賞されたことです。あらためて乳質の高さが示されました。さらに飼料倉庫新築工事が始まり、年末には建屋がほぼ完成しました。少し緩和されましたが、引き続き新型コロナウイルス禍の影響でいろいろな事が制限された年となりました。

食品を含む全ての物品が値上げされています。こうしたことから牛乳乳製品の消費も減退し、生乳需給が緩和しています。乳価値上げの阻害要因となっている需給ギャップの解消に向け、消費の拡大と国の支援の下、酪農乳業が一体となった脱粉在庫削減対策、生産抑制対策の取組により、生産コストを適正に転嫁できる環境整備が急がれます。また、持続可能な酪農を目指して粗飼料の増産・域内流通促進、未利用資源を活用したエコフィード（食品残渣飼料）利用等により少しでも自給率を高めることも必要です。

今後、消費が回復した時に備え、政策的支援事業の緊急要請、生産基盤強化対策、良質生乳対策、粗飼料増産対策、飼料倉庫移転等に努めてまいります。

本年も引き続き、組合の事業運営にご理解とご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



酪農指導部 部長
山本 文彦

組合員の皆様並びに職員の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い致します。

今年も、一昨年から続く飼料の高騰、長引くウクライナ情勢、急激な円安により、あらゆる物の値上がり、高止まりが続く事が懸念されます。また、副産物価格も急落する中、昨年の11月に乳価が値上げとなりましたが十分でなく、引き続き厳しい酪農経営が予想されます。

国、県等の補助事業への取組みと併せて、昨年立ち上げた、自給飼料生産支援プロジェクトチームの取組みを強化し、自給飼料の増産、国産飼料の利用拡大、未利用資源の活用等を後押しし、厳しい酪農経営の一助に出来ればと思います。

建設中の飼料倉庫が、2月上旬には完成・移転の予定です。組合員の皆様の利便性の向上はもとより、共に寄り

添える酪農指導部でありたいと思いますので、引き続き皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



製造部 部長
村本 一晃

新年明けましておめでとうございます。新しい年、組合員並びに職員の皆様のご健勝とご多幸と共に、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう、心からお祈りいたします。

さて、2023年度は第8次中期経営計画最終年になります。昨年に引き続きコロナ禍と不安定な社会情勢の中、電気・LNGの高騰と、原材料のさらなる値上げが予測されます。

このような環境の中、本年製造部では、「製造原価の低減」を最重要課題とし取り組みたいと考えております。内容といたしましては、生産効率のアップによる燃料・動力費の削減と残業時間削減、また作業効率を上げるため、

製品アイテムの集約などが急務と考えます。

製造部各課で再度見直しを行い、掲げた目標が達成できるよう、製造部一丸となって取り組んでまいりますので、本年も変わらないご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



販売部部長、製品開発センター長
川上 一敏

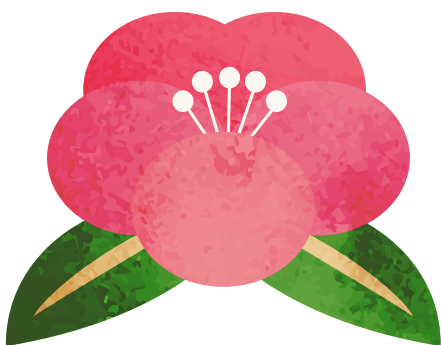
新年あけましておめでとうございます。旧年中は、組合員、役職員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

さて、本年度は第8次中期経営計画の最終年度となり、第9次に繋がる重要な年ではありますが、引き続きコロナ禍、そして価格改定の影響等、先行き不透明な状況は変わりありません。

このような厳しい状況の中、今年度の販売計画152億円の達成に向

け、他部署との連携強化を図り、重点項目に掲げております「宅配瓶事業の受託製造」、「直販事業の拡大」、「更なる物流改革」、「クリームチーズを使用した製品開発」等によりしっかりと取り組みを行い、組合の経営に貢献して参ります。

今年も様々な課題が山積しておりますが、干支である兎の耳のようにしっかりとアンテナをはり、市場動向を注視して販売部、製品開発センターが一丸となって対応していく所存ですので、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い致します。





品質管理部 部長
遠藤 秀嗣

組合員、職員の皆様明けましておめでとございます。旧年中は皆様には大変お世話になりました。本年も何卒宜しくお願い致します。

さて、本年度は第8次中期経営計画の3年目であり、製造由来再発クレーム0という大きな目標を立てております。この2年間、製造部と共に同目標達成のため、取り組みを行ってきた中で、ラインの改善、職員の意識改革も進んでおります。再度過去事案の分析を行い、その結果について製造部との共有を図り、再発クレーム0を目指して取り組んで参ります。

また、昨今お客様から要求される事柄として、製品の品質管理だけでは無く、SDGsの高まりとともに、環境問題、社会問題等多岐にわたるものとなって来ております。これらお客様からのご期待に応えられるよう、各部と連携し、一丸となって取り組んで参ります。

ます。
この新しい年が組合、皆様にとってより佳き年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせて頂きます。



総務部 部長
陰山 剛

組合員の皆様並びに職員の皆様、新年明けましておめでとございます。旧年中は、本組合の事業運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、前年同様にコロナ感染症の影響が続く中、ウクライナ紛争や急激な円安など酪農生産に与えた影響は非常に大きく、生産者の皆様にとって厳しい状況であることは今も変わりませんが、県や市町の支援、組合による支援など生産支援は今後においても重要である一年を通して念じた年でありました。その中でも、第8次中期経営計画2年目の目標を掲げ取り

組み、製品価格の改定など先行き不安定な要素もある中、一定の成果を上げることができましたのも、関係各位の多大なるご支援の賜物であります。

本年は第8次中計最終年です。目標達成に向け、確実な成長を求め続けて行きます。総務部では、

一、財務基盤の更なる強化と安定

二、収益向上を目的とした設備投資等に対する安定的な資金調達とそれによる費用削減

三、ヒューマンエラー、ミスの削減による生産性の向上や階層別研修制度の確立を目的とした人材育成計画の実行を掲げて取り組みを重ねます。

そして、次期中期経営計画を見据え、組合全体の満足度の向上を目的とした取り組みに、検討着手したいと考えています。

先行き不透明な国内外の経済動向に耐えうる酪農生産基盤と乳業を目指すことが必要であり、組合員・役職員が一丸となって取り組める組合とならなければならぬと考えます。その結果、組合の円滑な事業運営となり、かわる人の満足度の向上に繋がるよう一人ひとり行動して参りますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

最後に、組合員・職員の皆様のご健

勝、この一年のご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



監査室 室長
市村 満栄

新年あけましておめでとございます。旧年中は、組合員様並びに役職員の皆様方には大変お世話になりました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。昨年4月から、監査室にて監査業務を行う事となりました。一年目となる昨年は、意義ある監査を行うに必要なスキルの無さを痛感した次第です。本年は、スキルの向上を図り、大山乳業にとって有益な監査の実施が出来るように努めて参ります。そして、部門が抱える問題の本質を見極め、適切な提案と協議を行い改善に向けた一助になる内部監査を実施して参りたいと思います。先の見えない激動の社会情勢と、乳業界が直面する厳しい環境下におい

て、大山乳業が掲げる中期経営計画に沿った業務履行状況を把握し、事業の発展に寄与できる監査になるよう尽力して参ります。

最後に、この一年の組合員・職員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。



総合企画室 室長
中田 暁宏

組合員、職員の皆様、新年あけましておめでとございます。

総合企画室は令和3年春より「総合企画課」「デジタル推進課」の二課体制に移行し、昨年度は特に経営企画機能の強化に取り組みました。組合創立80周年に向けての経営環境分析や業績分析をはじめ、組合全体の経営戦略立案に本格的に着手し、中長期的な視点から大山乳業の今後の姿について考え始めています。その他、広報では公式ホームページの一新やSNSによ

る情報発信力強化、デジタル推進では業務の効率化と費用削減に一定の成果を上げることができました。

本年は第9次中計の戦略構築につなげる重要な年です。総合企画課では「白バラブランド」のさらなる価値向上と組合業績への寄与をめざし、「白バラ牛乳」を柱に据えた新たなブランド戦略構築を進め、合わせて積極的なプロモーションも仕掛けていく予定です。また、本年は長年の懸案でありました「新デザート工場」の建設に向けた方向性を示しする年でもあり、慎重な検討を進めてまいります。デジタル推進課では引き続き、業務のデジタル化・DX化を牽引します。

新型コロナウイルス感染症の再拡大や資源価格・物価高騰など、組合内外に課題は多い状況ですが、大きな可能性も秘めた年であると捉え、総合企画室の職員が一丸となって取り組んでいきます。うさぎ年に因み、「大きな飛躍の年」になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年度酪農功労者表彰者並びに

牛群検定表彰者（検定優秀牛表彰）

表彰状授与式が開催される

標記の授与式は、鳥取県共進会ふれあい祭り会場にて受賞者を招いて表彰式を実施してありますが、本年も鳥取県共進会の乳牛部門の開催が中止されましたので、令和4年12月の推進員会にて授与式を開催することになりました。

【受賞者のご紹介】

酪農功労者受賞者は、長年に亘り鳥取県酪農に尽力され、その功労が認められた方へ表彰する制度です。

琴浦町 久米 繁好 さま
倉吉市 田中 義博 さま



牛群検定表彰は以下の

条件で鳥取県全域を対象に調査し選抜されました。

1. 期間 2021年1月1日～12月31日に検定終了したものより、305日補正乳量で各検定組合から上位牛を選抜する。

2. 最新の検定情報から既存しているか確認する。

3. 搾乳期間と乳成分年平均の比較で決定する。

1組合	北栄町 (株)ウェストヒルズファーム 所有				
名 号	WHF アレックス ジル				
登録番号	0864669955	生年月日	2017年08月06日		
父	エルムレーン ミスター アレックス	登録番号	JP3H55206		
検 定 成 績	検定年齢	2歳 00月	産次	1 産	検定方法 立 会
検定期間 2019年09月03日～2021年01月28日(513日)					
搾乳回数		2回	産乳量	17,972kg	乳脂量 407kg (3.1%)

2組合	日野町 小谷 一起 所有				
名 号	ダイセンビュー ブランディ シルバー				
登録番号	1551527541	生年月日	2017年09月08日		
父	シーガルベイ シルバー E T	登録番号	72156794USA		
検 定 成 績	検定年齢	2歳 11月	産次	2 産	検定方法 立 会
検定期間 2020年08月12日～2021年08月11日(364日)					
搾乳回数		2回	産乳量	17,761kg	乳脂量 643kg (4.3%)

3組合	国府町 (株)フィールドカンパニー 所有				
名 号	グリークレスト カラオラ ストーム				
登録番号	1586902085	生年月日	2018年10月12日		
父	NLBC シェアトン カラオラ	登録番号	57956		
検 定 成 績	検定年齢	1歳 10月	産次	1 産	検定方法 立 会
検定期間 2020年09月07日～2021年08月01日(328日)					
搾乳回数		9回	産乳量	17,806kg	乳脂量 444kg (3.3%)

指導課 通信

今月のトピックス

・飼料分析の見方について

飼料分析の見方について

全国酪農農業協同組合連合会

大山乳業駐在 原口知弥

昨今の飼料価格高騰を受けて、自給飼料の活用を見直される方もいらっしゃるのではないのでしょうか。自給飼料の活用には、コストの削減や良質な繊維源の確保などのメリットがあります。一方で、成分や発酵品質などが悪いと生乳の生産性に悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。これらのリスクを回避するためには、自給飼料の分析を行い、その成分を把握し、目的に沿った飼料設計を行うことが大切です。今回は全酪連で行っている飼料分析の主な成分について解説していきます。

ONIR分析について

全酪連分析センターではNIR分析を採用しています。NIR分析とは、サンプルに近赤外線(NIR)を照射して吸収される光

飼料分析報告書
Dairy One forage laboratory

ACORN SLAGE

分析項目: Moisture, CP, NDF, ADF, Lignin, etc.

分析結果: Moisture 75.71%, CP 20.20%, NDF 42.00%, ADF 24.00%, Lignin 10.00%, etc.

(図1)

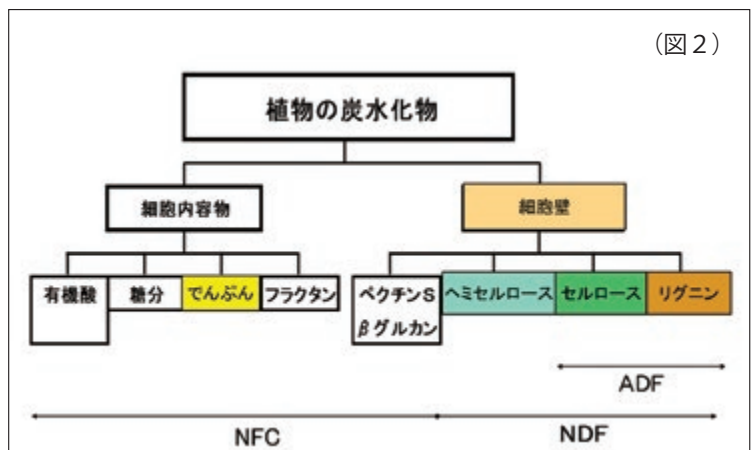
ります。
SIP:ルーメン内で急速に分解される蛋白質及び非蛋白質態窒素で、ルーメン微生物の菌体合成に使われます。
RUP:ルーメン内で微生物による分解を受けずに下部消化管に届く蛋白質のCP中の割合を示したものです。RUPはルー

メン・バイパス蛋白質とも呼ばれます。
OADFとNDF
ADFは、繊維成分のうち酸性的の界面活性剤で不溶の成分を示し、一部に蛋白質(ADICP)も含んでいます。セルロースとリグニンが主体であり、ADFは消化性の悪い繊維の指標となります。一方のNDFは、中性の界面活性剤に不溶な総繊維の指標です。セルロースとリグニンの他、ヘミセルロースを含んでおり、一部に蛋白質(NDICP)を含みます。これらはルーメン微生物により分解され、動物のエネルギー源となります。(図2)

OADFとNDF
ADFは、繊維成分のうち酸性的の界面活性剤で不溶の成分を示し、一部に蛋白質(ADICP)も含んでいます。セルロースとリグニンが主体であり、ADFは消化性の悪い繊維の指標となります。一方のNDFは、中性の界面活性剤に不溶な総繊維の指標です。セルロースとリグニンの他、ヘミセルロースを含んでおり、一部に蛋白質(NDICP)を含みます。これらはルーメン微生物により分解され、動物のエネルギー源となります。(図2)

ONDFom

ONDFのうち、でんぷんや繊維結合蛋白質(NDICP)の大部分を溶解除去する処理を行って求めたものをaNDFといい、更にそのaNDFから灰分を除去したものをaNDFomといい、無機物を含まない有機物としてのNDFを表しています。



(図2)

す。aNDFとaNDFomの差は、通常1〜3%程度ですが、差が大きい場合は、土砂の混入の疑いがあります。
O Lignin(リグニン)
植物細胞に存在する難分解性の繊維成分で、下部消化管でも消化されず、そのまま糞中に排泄されます。

ONDFom

ONDFom
サンプルを一定時間ルーメン液で人工培養した時に、aNDFomが消化された割合を示すものです。

ONDFom

ONDFom
サンプルを一定時間ルーメン液で人工培養した場合に、消化されなかったaNDF

omの割合を示し、その中でもuNDFom 240hrは、240時間(11日間)人工培養後のaNDFomで、ルーメン内で絶対に消化されない繊維(NDF)を意味します。

OWSCとESC(単少糖類)

WSCは、水溶性の炭水化物で、フルクトン(果糖の重合体、イヌリンなど)を主体とし、単少糖類も含まれます。牧草中に貯えられている糖分の指標です。一方のESC(単少糖類)は、80%エタノール溶液で抽出される糖類で、グルコースや果糖などの単糖類とマルトース、フルクトースなどの二糖類がこれに含まれます。WSCやESCは、サイレージでは発酵により消費されるため、発酵が進むと減少します。また、発酵が進んだサイレージでは、数値が小さいため、WSCとESCの値が逆転して表示されることがあります。

OStarch(でんぷん)

穀実や根に多く含まれる炭水化物で、生体のエネルギー源に適した成分です。そのうちの可消化でんぷん(Digestible starch)は、ルーメン内で分解されるでんぷんの割合を示したもので、コーン及びコーンサイレージに表示されます。4mmスクリーンを通過したサンプルをルーメン液中で7時間人工培養した時のでんぷん消化率に基づいています。

OCFat(粗脂肪)

体のエネルギー源となるもので、脂質の他、色素や有機酸なども含んでいます。他の炭水化物の2.25〜2.8倍のエネルギー量を含んでおり、飼料のエネルギーを高めるのに有効です。ただし、給与飼料全体のDM中で7%を超えるとルーメン微

生物の生育を阻害します。

OAsh(粗灰分)

飼料中に含まれる無機物の割合です。植物体や添加物に含まれる無機物の他、混入した土砂を含む場合があります。稲WSCは植物体にケイ酸塩を多く含むため、高い値を示しますが、それ以外で10%を超える場合は土砂や火山灰の混入の疑いがあります。土砂混入の疑いのある場合は、刈り取りの際に高めに刈るなどの対策が推奨されます。

ODCADとテタニー比

DCADは、飼料に含まれる陽イオンミネラルと陰イオンミネラルの当量の差を表しています。移行期牛への給与飼料はDCADをマイナス(陰イオンミネラルが多い)になるように調整することが推奨されています。カリウムが高いとDCADが高くなりますので、圃場への堆肥やカリ肥料の過度の施肥は避けましょう。

テタニー比は、カリウムの当量をマグネシウムとカルシウムの当量で除したものです。高カリウム・マグネシウム不足の牧草はテタニー比が高くなり、テタニー比が2.2を超えると、グラステタニーを発症しやすくなるので、注意が必要です。

○硝酸態窒素

濃度が乾物中1000ppmを超えると中毒による生産性低下や事故のおそれがあります。給与を中止するか、硝酸態窒素濃度の低い粗飼料と組み合わせて給与するなどの対応が必要です。飲水が硝酸態窒素に汚染されていたり、妊娠牛や泌乳最盛期の牛などは、より低い濃度でも中毒の危険があります。(図3)

(図3)

飼料中の硝酸態窒素濃度 (乾物中ppm)	給与上の注意
<1000	充分な量の飼料と水が給与されていれば安全
1000~1500	妊娠牛以外は安全。妊娠牛には乾物中50%を限度として使用。場合によっては、食欲不振、乳量低下、流産が発生する。
1500~2000	すべての牛に対して、乾物中50%を限度として使用。中毒死等の異常が発生する可能性がある。
2000~3500	乾物中35~40%を限度に使用。妊娠牛に給与しない
3500~4000	乾物中20%を限度として使用。妊娠牛に給与しない
>4000	有毒であり、給与してはならない

OPH

サイレージ等の発酵品質の簡易的な指標です。コーンサイレージでは4以下、グラスサイレージは5以下が望ましいです。発酵不良のサイレージは乳酸の生成が少ないため、酸性になりやすく、また蛋白成分が腐敗してアルカリ性のアンモニアやアミンが生成されるため、pHが高くなります。ただし、低水分のサイレージは良質なもので、pHが5を超えます。

OVFA(揮発性脂肪酸)

良質なサイレージは、乳酸発酵しますので、乳酸の割合が多くなりますが、発酵不良の場合には、酢酸や酪酸が多く生成します。

Acetic Acid(酢酸)：乳酸菌の増殖に先立って、サイレージ詰込み初期に好気性発酵で生成してpHを低下させ、乳酸菌の増殖に適した環境造りをします。ただし、詰込みが遅かったり、踏圧が十分な場合にも生成し、多過ぎるとサイレージの嗜好性を損ない、乾物摂取量が低下しますので、乾物ベースで1〜3%程度に留める必要があります。

Butyric Acid(酪酸)：酪酸菌の増殖により生成します。良質なサイレージでは酪酸は0.1%未満です。酪酸菌はサイレージ中の蛋白質を分解し、アミンやアンモニアを生成するため、サイレージのpHが上昇します。

Lactic Acid(乳酸)：乳酸菌の増殖で産生されるサイレージ酸です。良質なサイレージは乳酸発酵していますので、乳酸の値が大きくなります。良質なコーンサイレージでは乾物ベースで4〜7%の乳酸を含んでいます。

OVFAスコア

サイレージの乳酸発酵の品質評価値です。VFASコアは10点満点で表され、その評価は8〜10良、6〜8可、3〜6要改善、3未満不良となっています。

※ただしこれはアメリカのDairy VOAが提唱しているものであり、日本のVスコアとは評価基準が異なります。

以上が主な分析項目になります。分析の推奨される値については刈り取り時期や草種によって異なり、給与量についても他の飼料との組み合わせによって変わってきます。詳しい内容につきましては気軽に全酪連職員にお問い合わせください。

第21回 2023年のスタート

2023年がスタートしました。今年こそは、コロナ禍から抜け出せるといいなと思いつつ、まだまだコロナが猛威を振るっているのが現状です。特にこの冬の寒い時期は、体調を崩しやすいので、手洗い・うがいをしっかりと、美味しいものをたくさん食べて、乗り切っていきましょう。

さて今年わたしには2つがんばりたいことがあります。1つは官能検査講習会の結果を今より良くしたい、2つ目は表示検定を受ける(合格ではない)ことです。官能検査は初年度より少しだけ良くなったと思っていますが、まだまだ足を引っ張っているのががんばりたいと思います。表示検定は受けよう、受けようといいながら、結局まだ受検しておらず……。酪農だよりの記事に書くことで、今年こそはがんばりたいと思います。

みなさんも今年取り組もうと思って、いることは何でしょうか。仕事のこと、私生活のこと、いろいろとあるかと思いますが、お互いがんばりましょう！

本年がみなさまにとって健康第一で素晴らしい年になりますように、お祈りしています。



酪農・畜産・水稲危機突破集会 「農フード農ライフ」開催

討論会で小前組合長が生産者の現状を説明

12月2日(金)、鳥取市のとろぎん文化会館にて「農フード農ライフ」と題した酪農・畜産・水稲危機突破集会が開催され、約70人が参加しました。

会では、東京大学大学院教授の鈴木 宣弘氏より「迫る食料危機！ 私たちの食と農を守るためにできること」と題した基調講演が行われたほか、生産者、消費者、農家を代表し4名がパネラーとなり意見交換を行う討論会も開催されました。

場の鎌谷会長、消費者団体を代表して鳥取県生協の神谷理事が登壇し、参加者を前に「酪農をめぐる情勢と課題 生産者・消費者の立場から」をテーマに、酪農をめぐる情勢により生産者が直面している現状やコロナ禍による生乳消費の落ち込みなどの実情と物価が上がる現状で感じている消費者の想いなどを、それぞれの立場から意見を交わしました。

この中で、小前組合長は、ロシアのウクライナ侵攻や円安などによるエサ代の高騰や電気代の高騰による生産コストの上昇により、多くの酪農家が苦しい状況に直面していることや、新型コロナで落ち込んでいる外食需要により生乳の消費が落ち込んでいることなどを説明しました。

登壇した4名は、それぞれ立場は異なるが、多くの人が現状に関心をもち、県産の乳製品の消費拡大につなげていくことが重要だと意見を発信しました。

参加者は、この後会場から鳥取駅までの距離を「酪農・畜産を守ろう」県内牛乳を飲む」と書かれたのぼりを持ちデモ行進しました。

今回の会を企画され、鳥取県酪農民連合会の鎌谷一也会長は、「食や農は生産者だけの問題ではなく、消費者1人1人にも一緒に考えてほしい」と会を締めくくられました。



討論会で酪農の現状を説明する
小前組合長



突破集会のようす

私のオススメ

みなさん、こんにちは。この秋から工場見学担当になりました製造管理課の山根です。私のおススメは「白バラ手帳」です！

おなじみの白バラ牛乳パッケージがそのまま手帳になったデザインが可愛らしく、常に身近に置いておけるので気に入っています。工場見学のお客様からも「白バラグッズが可愛い」という声を聴くと嬉しくなります。

直売所などでは白バラ手帳の他にも色々なグッズが発売されていますので、皆さんもぜひ自分のお気に入りを見つけてみてください！



愛用しています



大山乳業農業協同組合 からのお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

理事会にて次の議決が決議されました

12月20日提出議案

- 第1号議案 第3四半期業務監査指摘に対する回答について
- 第2号議案 11月末経営検討について
- 第3号議案 令和5年度事業計画(案)について
- 第4号議案 諸規程の一部改正について
- 第5号議案 固定資産の取得について
- 第6号議案 固定資産の処分について
- 第7号議案 全酪連への増資について
- 第8号議案 年末一時金について

直売所カウイーのみるく館からのお知らせ

バレンタインセットのご紹介

期間
限定

バレンタイン向け
商品を販売します!

バレンタイン
にもピッタリ!
ラッピング
してお渡し
します



バレンタイン向けにラッピングした白バラ製品を数量限定でご用意します。プレゼントとしてご利用ください。※包装は変更する場合がございます。ご了承ください。

販売期間 2023年2月4日(土)~2月14日(火)

新商品発売について

乳飲料の新商品のご紹介です

白バラココア

500ml・1000ml

期間限定

ガーナ産カカオ豆から作ったココアを使用したココアミルクです。そのまま飲んでも、温めて飲んでもおいしいココアミルクは、お好みで白バラ牛乳を加えて、ミルク多めにすることもおすすめです。ミルクとココアの素材本来の香りを大切に仕上げました。



販売期間:
2023年3月末まで

異動辞令等

【令和5年1月21日付け】

(所属及び役職) (氏 名) (旧所属及び役職)

販売部

岡山営業所 職員	安藤 準一	物流課 職員
物流課 職員	法本 野花	営業課 職員

総務部付

職員	大竹 敦也	岡山(営)職員
----	-------	---------

酪農指導部

指導課 職員	東 亜美	総務課 職員
--------	------	--------

- いつも鳥取に行った時には楽しみに寄って購入しています。これからも素敵な美味しい商品待ってます! 頑張ってください! (広島県)
- 合宿免許で倉吉に来た際、よく飲んでいる白バラコーヒーを製造されている大山乳業さんが鳥取県の企業であることを知りました。わたしにとっても大事な休憩時間のお供です。 (大阪府)
- 小さい頃から給食にでていた白バラの牛乳。当たり前に飲んでいたので、すが大人になっても県外に出たとき、白バラ牛乳のおいしさを実感しました。鳥取に帰ってきてからは白バラ牛乳ばかりです。 (鳥取県)
- 鳥取を応援する為、牛乳など買う時「これ美味しいのよね」と一言いうようにしています。応援しています。 (愛知県)
- 子供達は、スーパーに行くとき白バラコーヒーの元へ走って行き、いちばんに取りに行ってくれます。家族団欒の時間を作ってくれる、大山乳業さんに感謝しています。ありがとうございます。 (山口県)
- 主人の実家が大阪なのですが、帰郷すると白バラコーヒーを用意してくれていて、主人曰く牛乳が飲めなかったけれど、白バラコーヒーを飲むようになって飲めるようになった。 (兵庫県)
- 最近佐賀市内でも白バラコーヒー購入できるようになったので嬉しい! 白バラコーヒーサイコー! (佐賀県)

ホームページ
からのお声



令和4年度 永年勤続表彰式が開催されました

12月22日(木)、令和4年度永年勤続表彰式が開催され、勤続40年6名、勤続30年2名、勤続20年3名、勤続10年6名の合計17名が表彰をうけました。小前組合長は、「この10年は機械の更新や工場の新築など、組合にとって大きな発展や変化があった」とし、この間の想いや経験をもとにさらなる活躍を期待すると、労いと激励の言葉を贈られました。

表彰者を代表してデザート課の松田課長補佐は、「コロナ禍で、コミュニケーションが取りづらいつと感じることもあるが、後輩にバトンを渡すためにも若手職員の育成に努めたい」とお礼の言葉を述べられました。



表彰式に出席された皆さん

編集後記

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年は「癸卯(みづのと・う)」と呼ばれ、「寒気が緩み、萌芽を促す年」となると言われています。

コロナ禍も4年目を迎えますが、今年は組合内外で明るい話題が聞こえる年になれば嬉しいです。

組合情報発信中です!!



twitter



Facebook



Instagram



YouTube



組合公式通販サイト



白バラのチーズ紹介ページ

酪農だよりに関するご意見・感想は大山乳業農協
お問合せフォームからお寄せください

QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



詐欺にモ〜っと注意して！ 鳥取県警が白バラ牛乳広報欄で詐欺被害防止呼びかけ

12月1日(木)、ショッピングセンターアプト(琴浦町)にて鳥取県警察本部と大山乳業農協が詐欺被害防止のPR活動を行いました。

同広告は11月末から約1ヶ月間、白バラ牛乳1000mlに掲載され主に山陰エリアで販売されました。

当日は施設入口にてチラシ配布と声掛けを行った他、施設に入る店舗で白バラ牛乳を手にとったお客様にも詐欺防止の声掛けを実施しました。

鳥取県警の波田警部補は「多くの県民が購入する白バラ牛乳で注意喚起が出来れば」と広報欄活用に期待を込めておられました。



白バラ牛乳の広報欄と配布したチラシ

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回で紹介するのは、平成6年5月発行の「酪農だより」第388号より、岡山県で開催された第10回中国地区ブラックアンドホワイトショーのようすです。

鳥取県からは14頭が出品され、3つの部門でチャンピオンを獲得。さらに経産の部のグランドチャンピオンにも輝くなど好成績だったことが紹介されています。

酪農だより vol.732



大山乳業農業協同組合

発行責任者／小前孝夫 編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社 発行日／令和5年1月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保 37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp